

花きのバケツ流通技術

鮮度・日持ち性に優れた花きの低コスト大量周年供給システムを確立するため、バケツト低温輸送を核とした生産流通システムの確立・普及を図る。

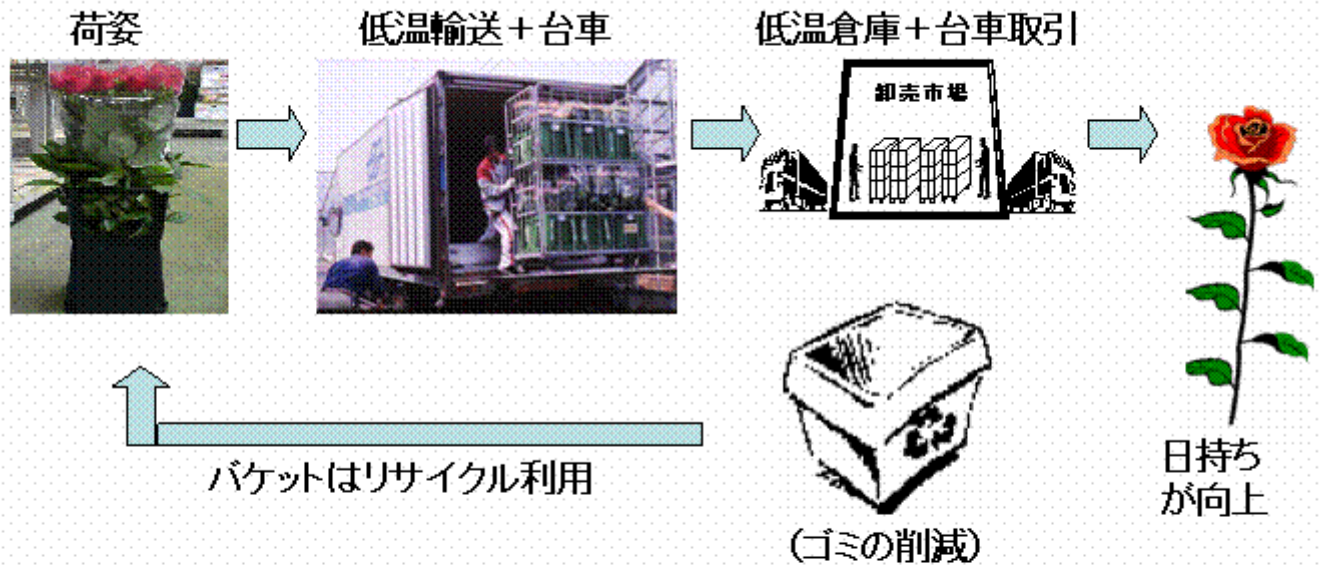
確立された技術の内容

生産・流通・消費の各流通段階における温湿度等の最適輸送条件を調査し、「バケツト低温流通を核とした切花流通における品質管理マニュアル」を策定。品目別マニュアルを策定したバラ及びカスミソウで流通量の40%程度まで普及。

出荷数量に対するバケツト流通量の割合(%)

| 品種名 | バラ | トルコギキョウ | カスミソウ | 切花全体 |
|--------|-------|---------|-------|------|
| 平成13年度 | 4.48 | - | - | 0.63 |
| 平成16年度 | 40.82 | 14.82 | 43.60 | 5.06 |

資料：花き対策室及び（社）日本花き卸売市場協会調査



バケット低温流通の概要

品質保持日数を評価した結果、バケット低温流通は乾式常温流通に比べて、約2.5倍日持ちが向上。

バケット低温と乾式常温流通の品質保持日数の比較

| | 品質保持日数 |
|-----------|--------|
| バケット式低温流通 | 9 . 0 |
| 乾式常温流通 | 3 . 4 |

注) パラ切花を乾式常温 (20) とバケット式低温

(5) の条件で48時間輸送し、20 、12時間照

明の条件下で品質保持日数を比較

【技術の経営面等への効果】

- ・生産者段階では、出荷経費が若干高くなるものの早朝の箱詰め作業やダンボールの組立作業が不要。
- ・小売段階では、水揚げ、切り戻しの必要がないため、流通コスト削減が可能。
- ・従来の流通システムと比べて、鮮度・日持ち性に優れた切花の提供が可能。
- ・これまで問題になっていた、ベントネック（首垂れ）が発生しないなど、品質面で市場、小売店で高い評価。
 - ・ダンボール箱や切花残さ等の小売店頭でのゴミとその処理費用が削減。

【普及上の留意点】

- ・バケット式低温流通のメリットを生かすためには、生産者段階で、水揚げ等の品質管理を適切に行うことが必要。
- ・出荷経費が若干高くなるため、等級が高い品目を採用する必要。
- ・バケット低温流通システムを導入するためには、生産者・卸売業者・小売業者等が連携し、日持ち保証販売など、日持ち・鮮度の良さを消費者に広くアピールした販売を行うシステムを構築していくことが必要。

【参考成果物情報】(マニュアル、報告書等の所在情報)

全国段階

- ・「切花用バケツ・台車の規格」（平成14年9月、新花き生産流通システム研究会）（連絡先：（財）日本花普及センター TEL：03-3664-8739）
- ・「バケツ低温流通を核とした切花流通における品質管理マニュアル」（平成15年9月、新花き生産流通システム研究会）（連絡先：（財）日本花普及センター TEL：03-3664-8739）
- ・「バケツ低温流通を核とした切花の出荷規格」（平成16年10月、新花き生産流通システム研究会）（連絡先：（財）日本花普及センター TEL：03-3664-8739）

ブロック段階

- ・「東北地域におけるバケツ流通の取組み」（平成17年3月、東北地域花き鮮度保持技術推進会議）（連絡先：東北農政局 TEL：022-263-1111 内線4116）
- ・「東海地域における切花のバケツ流通の現状と今後の推進方向」（平成16年3月、東海地域花きキーテクノロジー検討会）（連絡先：東海農政局 TEL：052-201-7271 内線2427）
- ・「近畿地域における花き鮮度保持生産流通技術について」（平成17年6月、近畿花き鮮度保持生産流通技術検討会）（連絡先：近畿農政局 TEL：075-451-9161 内線2326）

【問い合わせ先】

農林水産省生産局果樹花き課（TEL：03-3502-8111 内線 3634）

〃 技術会議事務局地域研究課、研究調査官（TEL：03-3502-8111 内線5065）

